

科学のまちの子どもたち



# けいはんな科学体験 フェスティバル2026

2026/3/7(土)

## 実績報告書



けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク

## 1. 概要

- 日程： 2026年3月7日（土）
- 時間： 午前の部 10:00～12:30 （ナイル 10:00～13:00）  
午後の部 13:30～16:00 （ナイル 13:30～16:30）
- 会場： けいはんなプラザ イベントホール・アトリウム  
3階 大会議室 ナイル
- 参加費：無料
- 主催： けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-SCAN）  
共催： 精華町、（公財）関西文化学術研究都市推進機構  
助成： （公財）京都オムロン地域協力基金  
後援： 京都府山城教育局、精華町教育委員会、京田辺市教育委員会、  
木津川市教育委員会、奈良市教育委員会、生駒市教育委員会、  
相楽東部広域連合教育委員会、京都府立大学 精華キャンパス、  
奈良教育大学、けいはんな科学共育デザインラボ、  
けいはんなR&Dフェア実行委員会

### 実施目的

けいはんな学研都市および周辺地区の研究機関、企業、教育団体、教育関係者等の協力のもと、科学工作や科学体験などを通じて子どもたちが、科学のふしぎやおもしろさを体験する機会を提供する。

### 実施内容

ワークショップ 29講座（うち1講座は、精華町主催の同時開催イベント）

### 参加者

応募者 1,015人

当選者 400人（午前・午後各200人）

当日参加者 約310組（同伴者含め約900人）

## 2. 出展者（敬称略）

- ・大阪国際工科専門職大学 数理工ンタテインメント研究室
- ・関西光量子科学研究所（QST）
- ・京都技術士会 理科支援チーム
- ・京都府立大学 精華キャンパス
- ・京都府立南陽高等学校・附属中学校 自然科学部
- ・京都府立山城郷土資料館 友の会
- ・けいはんな科学共育デザインラボ
- ・けいはんな記念公園
- ・Colt Data Centre Services（コルトデータセンターサービス）
- ・システムステラ
- ・株式会社 島津製作所
- ・新日本理科株式会社
- ・精華ArchiveD（京都精華大学・株式会社ワンビリング・精華町）
- ・同志社大学 わたしのサイエンスプロジェクト
- ・奈良学園大学
- ・奈良学園大学 リハビリテーション学科
- ・奈良県立奈良北高等学校サイエンスチーム
- ・奈良工業高等専門学校
- ・奈良先端科学技術大学院大学 NASC
- ・ニデック株式会社 ニデックけいはんなテクノロジーセンター
- ・日立技術士会 サイエンス夢クラブ関西
- ・株式会社 堀場製作所
- ・NPO法人やましろきつづサイエンス
- ・ロート製薬株式会社 ロートリサーチビレッジ京都
- ・一般社団法人 次世代ロボットエンジニア支援機構
- ・折り紙ヒコーキ協会近畿支部
- ・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク【K-Scan】／精華町
- ・京都ドローン協会（主催：精華町）

### 3. 広報

チラシ配布数 19,000枚

#### (1) 事前チラシ小学校配布

精華町（5校）、木津川市（13校）、京田辺市（9校）、東部連合（3校）、生駒市（12校）の公立小学校、京都府立南山城支援学校（小学部）、奈良教育大学附属小学校、奈良女子大学附属小学校、奈良学園登美ヶ丘小学校、同志社国際学院初等部

#### (2) その他チラシ配布・配架

①後援団体（各教育委員会他）

②精華町・木津川市・京田辺市・奈良市（北部）各図書館、国立国会図書館、JR祝園駅、近鉄新祝園駅、けいはんなプラザ、すずらん館、精華町役場、精華町立施設（むくのきセンター・コミュニティホール 他4施設）、出展者

#### (3) その他広報

①広報誌：精華町、京田辺市、木津川市、奈良市、関西文化学術研究都市推進機構

②HP：けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）

③記者発表：精華町

#### K-Scan HP



# 告知

## 精華町 広報誌 2月号

# けいはんな科学体験フェスティバル2026

科学をテーマにした工作や体験など楽しいプログラムがいっぱい。科学のふしぎやおもしろさを体験しよう！

日時 3月7日(土)

- ①午前10時～午後0時30分  
(受け付け：午前9時40分～)
- ②午後1時30分～午後4時  
(受け付け：午後1時10分～)

※①②入れ替え制



場所 けいはんなプラザ

対象者 小学生

定員 各回200人(定員を超えた場合は抽選)

参加費 無料

申込方法 2月18日(水)まで(必着)に次の二次元コードから。

※申し込み結果は2月28日(土)までに全員に連絡します。

詳細はK-Scan ホームページから。



K-Scan ホームページ

☑けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク事務局(企画調整課内)  
TEL 95-1900・E contact@kscan.jp

## 広報ほつと京たなべ 2月号

### けいはんな科学体験フェスティバル2026

日にち=3月7日(土)

時間=▼午前の部…午前10時～午後0時30分

▼午後の部…午後1時30分～4時(受け付けは各15分前から)

場所=けいはんなプラザ(精華町)

対象=小学生

内容=工作や体験などの多彩なワークショップを通じて、科学の不思議や面白さを学びます。

定員=各回200人。多数の場合は抽選し、結果は2月28日(土)までに連絡します。

申込方法=K-SCANホームページ(=2次元コード)から申し込んでください。

問合せ先=精華町企画調整課(☎95-1900)



## 広報紙ならしみんだより 2月号

### 第15回健やかシアシア文化祭

0774・95・1900

申込 図 精華町企画調整課(☎)

(☎) から2月18日までに申

込 図 K-Scan ホーム

ページ (https://kscan.jp)

から2月18日までに申

込 図 精華町企画調整課(☎)

0774・95・1900

とき: 3月7日(土) 午前10時～午後0時半・1時半～4時

▼ところ: けいはんなプラザ(京都府相楽郡精華町)

▼定員: 小学生各200人

申込方法: K-Scanホームページ(https://kscan.jp)

結果は2月28日までに連絡します。

問合せ先: 精華町企画調整課(☎95-1900)

## 広報きづがわ 2月号

### その他 学研都市イベント

#### けいはんな科学体験フェスティバル2026

☑3月7日(土)

午前10時～午後0時30分、午後1時30分～4時

☑けいはんなプラザ「イベントホール」

☑科学工作、体験教室

☑ニデック、島津製作所、奈良先端科学技術大学院大学、

関西光子科学研究所、ロート製薬、堀場製作所など

☑小学生

☑各200人(抽選)

☑2月18日までに2次元コード又はホームページでK-scanへ。☑https://kscan.jp/

☑けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク(K-scan)

☑結果は2月28日までに通知します。



## 関西文化学術研究都市推進機構

### 広報誌View Vol.67

3/7

午前午後入替制

# けいはんな科学体験フェスティバル2026

けいはんな学研都市や周辺地区の大学や研究機関、企業が一堂に会し、科学のふしぎやおもしろさを体験できます。

参加団体(予定): 関西光子科学研究所、京都府立大学、奈良先端科学技術大学院大学、島津製作所、ニデック、堀場製作所、ロート製薬ほか

対象: 小学生 | 科学工作・体験教室(ワークショップ)

■時間: ①午前の部 10:00～12:30 ②午後の部 13:30～16:00

■会場: イベントホール・大会館空ナイル

■定員: 400人(①②各回200人 ※抽選) 費用: 無料

■申込方法: https://kscan.jp/

■申込締切: 2月18日(水) ※1月下旬から申込開始予定

■主催: 問合せ: けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク【K-Scan】(精華町企画調整課内 TEL 0774-95-1900)

申込詳細はこちら



## 4. 会場風景



公園の植物でガーランドを作ろう！



「ヒアルロン酸」のふしぎ実験  
～ロート製薬の一日研究員になってみよう～



電気を作る。使う。学ぶ。



人工種子を作ってみよう



楽しい理科実験教室 電気自動車を走らせよう



手軽に宇宙を楽しもう



分光器をつかって、光のふしぎを体験しよう！



ライトレースカーを作って走らせてみよう！



Scratchでゲームプログラミングをしてみよう



振っても混ざらない？三層の液体をつくろう！



バスボムとコツコツキツツキを作ろう！



紫外線ビーズでストラップを作ろう



精華町が取り組むアニメ資料のデジタル化を体験しよう！



光が虹色のハートに変身する？  
ふしぎな虹色ハートスコップを作ろう！



好きな原料を選び自分だけの  
ハンドソープをつくろう！



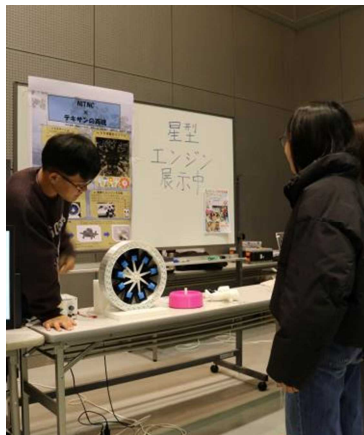
「はかる」と「わかる」  
～はかる装置を体験してみよう～



モーターをいっしょに作ってみよう



LaQで見る空気の流れ実験  
VRでお絵描き体験



ふしぎがいっぱい！こうがくランド



万華鏡を作って「光と反射」の世界をのぞこう



ぶんぶんごまを作って楽しもう！



忍者スライムと紫外線のふしぎな関係



バーチャルリハビリテーション体験



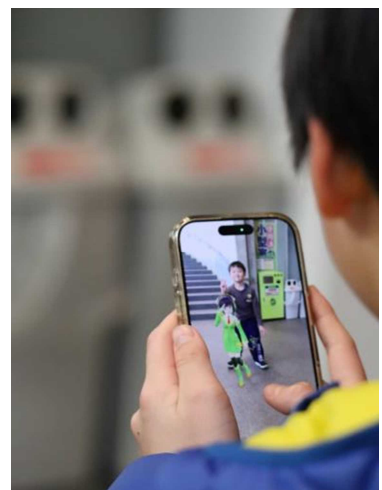
エンジニア選手権に出場した  
ロボットを操縦しよう！



くうきのちから？ ふう船ホバークラフトを  
つくってみよう！



けいはんな子ども天文クラブ  
～太陽を観察しよう～



ARでセイカちゃんとツーショット撮影



ドローン操縦体験



折り紙飛行機を作ろう！



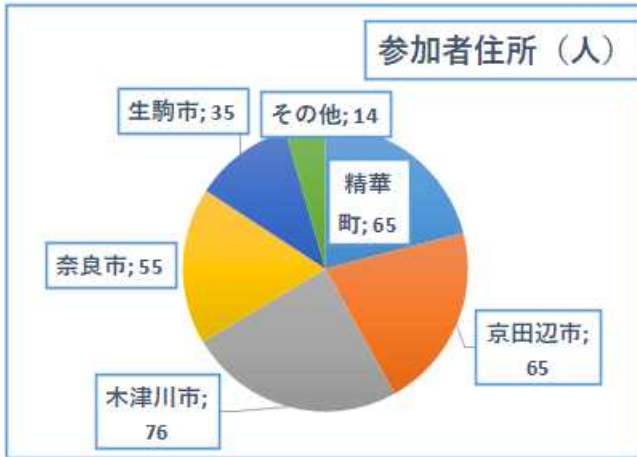
今年も受付開始から、たくさんの方が並んで下さいました。



スタンプラリーの景品選びや、やさぶろうボードへのコメントにも一生懸命取り組んでくれました。

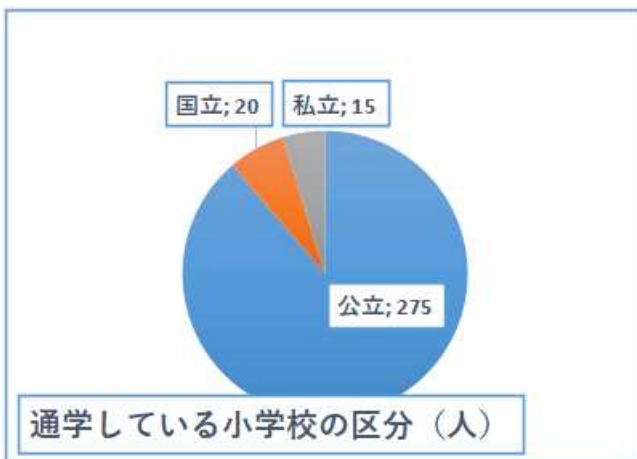
## 5. 参加者集計結果

参加者数 310人



その他 (14人) の内訳

宇治市 1 八幡市 1  
井手町 2 南山城村 2  
茨木市 1 天理市 1  
大和高田市 1  
大和郡山市 1  
奈良県川西町 1  
大阪市 1 高槻市 1  
東大阪市 1



国立・私立の内訳

国立  
奈良女子大学附属小学校 11  
奈良教育大学附属小学校 9

私立  
同志社国際学院初等部 10  
奈良学園小学校 4  
立命館小学校 1

1人当たりのブース平均体験数

スタンプシール配布枚数 2,187枚  
参加者数 310人

$2187 \div 310 = 7.05$  1人平均 7.0ブース体験

(2025年度アンケート平均は5.5ブース)

## けいはんな科学体験フェスティバル2026に参加して

### 【子どもたちからの声】

**ブース体験を終えた子どもたちに、参加した感想を自由に書いてもらいその付箋をやさぶろうボードに張り付けてもらいました。**

- ・ いろんな楽しい遊びがあって来てよかったなと思いました。
- ・ ゲームをしたり、おもちゃを作って遊んだりできた。
- ・ 科学がこんな事できるとは知らなかったからとても楽しかった。
- ・ 色々な体験ができておもしろかったです。
- ・ 楽しかったよ。また来たいです。
- ・ 色々なおもしろいものを見たり作れたりできて楽しかった。
- ・ 他の場所では経験できないことができてうれしかったです。
- ・ 紙ヒコーキで少しの折り方の違いで飛び方が変わるとわかった。
- ・ 知らないことを知れて楽しかった。
- ・ ロボットアームがおもしろくて楽しくて難しかった。
- ・ ロートが楽しかった。ハンドクリームうれしい。
- ・ 紙ヒコーキであと少しで優勝できたので惜しかったなと思いました。
- ・ ドローンの操縦で難しかったけどすぐに慣れたし、操縦も簡単なので楽しかったです。また借りたいです。
- ・ 紙ヒコーキで優勝したかったです。
- ・ 紙ヒコーキがこんなに飛ぶなんて衝撃的でした。
- ・ バーチャル体験がとても楽しかった。
- ・ 光がハートに見えるのがすごかったです。楽しかったです。
- ・ 色々な事が知れて、楽しかったです。また来たいです。
- ・ 知らないものの仕組みなどがわかって楽しかったです。また来たいです。
- ・ ガーランドのお兄さんやさしかったですよ。
- ・ ガーランド作りが平和であたたかい気持ちになりました。



**この他にも、それぞれが楽しかったブースをあげていただいたり、70枚を超える付箋でボードが一杯になりました。**

### 【保護者からの声】

- ・ けいはんなの各研究施設など、学術都市の底力を感じました。
- ・ 南陽高校や奈良高専の生徒、先生の皆様とお話する事ができ、進路を意識する事ができました。
- ・ 昨年度は抽選に外れたため、念願の今年参加する事ができ、想定以上に楽しかったです。
- ・ とても良いイベントですので、今後も継続くださると嬉しいです。
- ・ 早くから行けない家庭用に、整理券や事前予約のブースに抽選枠を設けて欲しいと思います。
- ・ 子供心に、スタンプラリーを進めたくて、じっくり時間がかかるものをした後、残り時間が少なくてガッカリしていました。所要時間が長めの場合は、シール2個になるとかだと良いなと思いました。
- ・ 所用時間の都合上、整理券制は致し方ないと思いますが、整理券を得るために事前抽選や先着配布となると殺伐としてしまうため、14番QSTさんのような短時間で多くの児童が参加できるブースがありがたかったです。
- ・ 受付列の案内（事前申込みありと一般）の違いが分かりづらかったです。
- ・ スタンプラリーの台紙が参加証の裏でわかりにくかった。

## 【出展者およびスタッフからの声】

- ・ブースに使えるスペースが広く、柔軟に組み換えることができるのがいいと思いました。
- ・十分なスペースで、周囲のブースと干渉することなく、自己の催しを運営できた。整理券のおかげで先の時間が読めたので運営しやすかった。
- ・町を上げて力を入れられており、すばらしいと感じました。出展団体も高校生から社会人まで幅広く、高校生が頑張っているのを見て大人のこちらが刺激になりました。また、他の出展団体のスタッフ様とのやりとりも楽しく、良い学びになりました。
- ・準備期間は十分にあった。プログラムはバランスよく様々なテーマがあって良いと思った。当日も各ブースの運営状況に気を配って頂けた。
- ・初めての参加でしたが、大変活気のあるイベントだと思います。来年度も出展したいと考えています。
- ・スタート直後、整理券（シール貼付など）配布や名前の記入、他体験との時間重複チェックなど非常にあわただしく、混雑するので緩和策として「QRコード」読み取りを採用してはどうか。
- ・出展者がイベントを進める声や参加者同士が緩衝していることが多々ありました。もう少し隣との間隔が広いと良いですが、音量調整でも対処可能ではありました。
- ・保護者用の椅子をお借りできませんでしたが、20分間の実験の間、立ち見して頂くのは大変そうでした。
- ・午前あるいは午後の部の終了時間に迫った際に、あと10分で終了となりますなどのアナウンスが頂けると、参加希望者に制限をかけやすくなります。
- ・昼の休み時間が短く、1時間は昼休憩の時間を確保いただければと思います。
- ・人数はもう少し多くても良いかなと思いました。
- ・会場内としては多すぎず少なすぎずちょうどよい人数だったと思います。
- ・思ったよりも多かったです。対応可能でした。
- ・欠席者数を読みにくいので難しいとは思いますが、各ブースに空きがあり、集客に苦労しているブースもお見かけしたので、参加者数をもう少し増やしても良いのではないのでしょうか。
- ・予想以上に1,2年生の参加者が多かったので、昨年までの参加学年割合をお知らせいただいていたら、事前に検討できてよかったなと思いました。
- ・スタンプラリーは良い試みだと思いますが、中にはシール集めが目的化してしまって、展示内容はどうでも良くなってしまっている子どもさんも見受けられました。どうすれば、子どもたちの科学への興味・関心・学びにつなげられるのか検討が必要ではないのでしょうか。
- ・事前申し込みに対応していたため、当日整理券配布等に工数を割くことなく余裕をもって始められました。ところが、他のブースで「先着順」や「当日整理券配布」に並んでいた子供たちが開始時間に間に合わなかった為か、参加当選したにも関わらず来られない子が毎回見受けられました。一つ目は、今回のイベントの時間管理が難しいのではないかとワークショップの開始時間等、足並みを揃えられないか、二つ目は、キャンセルがでた場合、〇分後にキャンセルとなり、代わりに他の希望者を入れてあげるのはいかがでしょうか等感じました。
- ・開場とともに長蛇の列に並ぶのではなく、子ども達が一つでも多くのブースを訪れることができる仕組みがつけると良いと思いました。



【出展者およびスタッフからの声】 つづき

- ・ 出展ブースのうち約半数で、若手、学生が説明を行っており、科学体験・人材育成のエコシステムを感じさせる形だった。
- ・ 3Fナイルの終了時間が30分ずれているのは、参加者には長く楽しめて良いが、アトリウムイベントの終了が間延びする状態であった。
- ・ 屋外展示への人の流れが弱かった。
- ・ 事前申込で整理券有の参加者も含め、参加証・プログラムの配布を行う受付は一元化してはどうか。
- ・ 参加者上限の見極めについて、整理券をもらえなかった参加者がどれくらいいたのか、回収した参加証から確認してはどうか。
- ・ 落とし物の管理方法をスタッフで共有しておくことが必要。
- ・ 今回から紙アンケートを廃止したが、データでの回答呼掛けが不十分でアンケートが集まらなかった。
- ・ 参加証をホルダーから出して参加証を貼るのに手間どった。
- ・ 整理券終了のアナウンスがあった方が良いのではないか。

以上

尚、皆さまからいただいたお声は来年度の開催に役立てさせていただきます。  
どうもありがとうございました。

